

## 第22回一宮市地域公共交通会議

開催日時：平成29年5月17日（水） 10:00～12:10

開催場所：一宮市本庁舎11階 1102会議室

（一宮市本町2丁目5番6号）

出席者

※会長・・・◎副会長・・・○

◎吉田 有夫、○加藤 博和、大津 純、青木 隆子、葛谷 昭吾、近藤 太康、  
野田 米吉、加藤 英代、鎌田 傳夫、伊藤 晴夫、久留宮 優司、近藤 博之、  
河邊 正和、川口 智也、岡田 英雄、八森 誠司、加藤 政治、石屋 義道、  
熊沢 裕司、滝沢 文清

### 事務局

ただいまより第22回一宮市地域公共交通会議を開催させていただきます。皆様方にはお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。また、平素より市行政の推進に当たりまして、格別のご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。私本日の司会を担当させていただきます一宮市企画部交通政策室長の松岡と申します、よろしく願いいたします。

本日は議事次第に沿ってご協議をお願いしたいと思いますので、よろしく願いいたします。それでは議題に入ります前に資料の確認をさせていただきます。本日お席に資料を置かせていただいております。まず本日の配席図、委員さんの名簿、次からの資料は申し訳ないのですが以前お送りした資料の差し替えになりますので、本日お配りした資料で会議を進行させていただきたいと思っております。まず、差し替えの資料の最初は本日の会議の議事次第、続きましてi-バス利用者推移の資料1、資料2。続きまして、こちらは差し替えではなく本日追加でお配りさせていただく資料になりますので、会議の中でご説明させていただきます。続きまして資料7、こちらは差し替えでお願いします。最後に資料10、こちらも差し替えでお願いします。差し替えの資料につきましては以上でございます。それに加えまして、カラー刷りで最新版の「一宮市公共交通マップ」と「i-バス時刻表とコース図」をお配りさせていただきました。それから現在の「一宮市公共交通計画の概要版」をお配りさせていただいております。もう1部別に、カラーの綺麗なパンフレットで国土交通省中部運輸局さんの方から「地域公共交通について活発で良い議論ができる会議のた

めに。」ということで1部資料をお配りさせていただいております。不足等ございましたらお知らせください。よろしいでしょうか。

それでは、議題に移らせていただきます。この後の議事進行につきましては会長さんをお願いしたいと思います。会長さんよろしくお願いいたします。

## 会長

皆さん、おはようございます。今年度初の会議でございますが、22回目ということで、事務局とお話をしましたがこの地域公共交通会議が始まって10年ということで、その中でスローではあるかもしれませんが少しずつ進みつつあると、そんな感想を持っております。今年も加藤先生と一緒に頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくご指導ご鞭撻のほどお願いをしたいと思います。

今日は今年度初めての会議ということでございます。残念ながら新しい委員の方が欠席の方もいるんですが、代理の方もお見えになっています。第1回目でございますので、簡単に所属とお名前をご紹介いただければと思います。

(委員 自己紹介)

中部運輸局愛知運輸支局のほうから先ほど皆さん方にお配りした「活発で良い議論ができる会議のために。」という資料の説明を岡田委員からよろしく申し上げます。

## 委員

岡田でございます。貴重なお時間をいただきまして恐縮でございます。「活発で良い議論ができる会議のために。」という資料について簡単に説明させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

これは昨年度の当初の会議でも配ってございましてご存じの方も見えるかもしれないんですが、概略を述べますと、中部管内でも9割くらいの市町村が公共交通会議を作っているんですが、実質的な議論にならずに終わってしまう会議が散見されるということ、中部運輸局としてどうにかしないといけないということになりまして、1年間掛けて加藤先生にも入っていただいてまとめたものでございます。良い会議にするためにということで、こちらを1ページ開いていただくと、公共交通がピンチですよと、会議はどういうふうに行えばいいですよということが1ページ・2ページに書いてあります。今日ここを細かく説

明するのは割愛いたしまして、3ページ・4ページの方に会議の参加者とその役割というものが書いてあり、特に住民代表の方、バスに乗ってきて意見がなかなか述べることができなと言われていたところではあるんですが、日頃から感じて困っていることをこの場で述べることによって会議に意見が取り入れられる、住民代表として気軽に言ういただくことが大切です。それぞれの立場でいろんな意見を述べる必要性があるでしょうというものを絵柄を使って簡潔にまとめたものであります。今日初めて来られた方はこれを見てすぐに意見を述べましょうというのは大変なことかもしれませんが、今日の会議を終えて次回のときにもう一度見ていただいて、事前に資料が配布されます。そういう中で意見を述べるような形で公共交通会議に臨んでいただければと。5ページに次回の公共交通会議というフローチャート式にいろいろ柄を入れながら書いておりますので、素朴な疑問というものがこの会議を良くしていくんだということの認識で気軽に述べていただければいいかと思っておりますので、そういう形でよろしくお願ひしたいと思います。簡単ですが以上です。

## 会長

どうもありがとうございました。それでは議事に入らせていただきます。まず報告事項ということで「一宮市内バス路線等の利用実績について」事務局から説明よろしくお願ひいたします。

## 事務局

<資料説明>

## 会長

ありがとうございました。これについて資料3の名鉄バスさんを含めて全体的な数字ですが、全体的には横ばいから少し増えているという意味では停滞ではないという数字が出てきておりますが、これに関連して名鉄バスさんの近藤委員から一言ありましたらお願ひします。

## 委員

特に私からコメントさせていただくとすると、当社全体の中でどういうふうに一宮の地区がなっているかという大まかな話をさせていただきます。愛知県内に大きく路線を持つ

ているんですが、大体こういう所で話をさせていただくと東高西低という言い方をさせていただいています。東の方はやはり伸びとしては若干多いと、いわゆる岡崎・豊田地区というところではありますが、では西はというとこの一宮地区、ここで見ていただくと資料3で見ていただいても分かるように微増ということ。そして、路線ごとの月ごとのプラスマイナスを見ましても、意外にプラスの路線、プラスの月が多いというのが一宮地区でありまして、比較的西の地区の中でも上向いてきているのか、それとも他を押しつけて好調なのか分析はしきれておりませんが、一宮市のi-バスさんほどではないんですが、この地域は好調なのかなという感想は持っております。

## 会長

ありがとうございました。資料3を見ていただければ分かるかと思いますが、名鉄バスさんの路線バスについては前年比100.91%ということですし、コミュニティバス合計も101.10%ということですので、合計で100.92%と全市的にはなっている。結果として減少ではなかったということはよかったのではないかという感想を持っております。まだまだこれで十分であるかという今後の課題ではあります。

続きまして、昨年7月から試行運行を行っておりますi-タクシーの利用実績とアンケート結果についてということで、これもその後の利用状況、12月に行った会議から数カ月経ちますが、さらには市民がどんな意見を述べているのかということについて、事務局から説明をしていただきたいと思います。

## 事務局

<資料説明>

## 会長

こうしたアンケートというのは極めて重要だと思っておりますので、今後こうしたi-タクシー制度を利用する、あるいは継続するに際しては利用される市民の方々の声を聞きながら、制度そのものを変更していくことが大事じゃないかと思っております。ただ、これで十分というわけじゃないですが、少しずつ着実に増えている。それから、今まで乗っていない所が9か所あったのが4月から2か所で利用があった。今年度より増やした5か所については3か所の利用があった。そういうような意味合いでは着実に進行しつつあるのではないかと思っております。

ここで、i-タクシーを運用されております——今日は愛知県タクシー協会という形になるんですが、これは名鉄タクシーさんの方でやっただいていますものですから、担当の方からご意見があればお伺いしたいと思います。

## 委員

先ほどご紹介をいただきましたタクシー協会の代表の代理ということで参加しておりますが、このi-タクシーの運行事業を担当しております名鉄西部交通の営業企画部の久留宮と申します。

先ほど実績の報告とアンケートの紹介がございましたが、少しだけお話しさせていただきたいと思います。昨年7月から始まりまして、徐々に数が増えているということで、爆発的に増えていくということにはなっていないということですが、減っていくこともなく推移しているということです。事業を行っている中で分かりましたことを話したいと思います。先ほど事務局からご報告がありましたが、非常によく使われている所とほとんど使われていない所と二極化しているというようなことが見てとれると思うんですが、この中で具体的に言いますと「下端地藏堂」が飛び抜けているんですが、実はこの地区は、ほぼお2人の方が反復利用されているという実態があります。それ以外の方も若干利用いただいているところではありますが、この方々が月に何回も利用していらっしゃるという所です。4月から新たに3か所増えという話もありましたが、そのうちの1か所もだいたいお1人の方が既に13回程使っているということで、比較的こういった所についてはある特定の方だけの利用で数が増えて全体数を押し上げているという状況になっております。ただこれだけ使われるということは、使われている方に利便があるということの証明でもありますので、周知の方法によってはこういった手段というのは有効だということも言えなくはないので、方法によっては増えていく地区なのかと思います。

逆に「レインボー2西」と「伝法寺本郷公民館」「五日市場公民館」「稲荷三ツ井公民館」の伝法寺地区ですが、この2か所については逆に特定の利用者が多く使われているのではなくて、非常にばらばらと多くの方がご利用いただいている地区です。そういったところからいくと、このエリアについては地区での運行についての理解が進んでいる所なのかなと見てとれますので、実情をよく調べていただくと他の地区と違う面があるかもしれないと思いますので、他でまだ利用されていない所についてはこういった所の参考になる点を活用されるといいかと思います。

それから運行を始めましてから予約が我々の所に入るわけなんです、利用者が高齢者

の方ということですので、当初は利用方法を理解していただくのに大変時間が掛かって、予約のお電話が長くなるようなことが多かったんですが、最近は先ほどの反復利用の方も多ということもありますが、ずっと使っていただいている方も多くなりましたので、現状ではあまりそういったことはなくなっておるんですが、これを増やしていくに当たりましては、初めて使われる方は利用の仕方がなかなか理解しづらい部分があるので、こういったところの利用方法についての、お知らせの仕方も工夫しなければいけないかと思えます。

アンケートにつきましては、ご紹介がなかったのですがご覧いただいている方は分かると思うんですが、我々運行事業者の乗務員に対する接客について高く評価をいただいている意見が多く見受けられました。大変ありがたいことですが、私どもは非常にそういった所は力を入れて日頃行っているのですが、そういったところが評価いただけたのかと思っております。こういった点は、利便性も大事ですが、公共交通にとっては大変重要なことだというふうに思っておりますので、今後も意識向上していきたいと思っております。それから近距離の移動を気兼ねされているというご意見もございました。実はタクシー業界につきましては初乗り運賃を安くして、近くを安くして「ちょい乗り」と言っておりますが、乗車を気兼ねなく利用しやすいということを、昨年東京が先行して先日名古屋も少し方向性を持った改正を行いました。そういった環境を徐々に整えつつあります。ではあります。またそういったご意見があるということは、実はこれはタクシーではないんですが、そういったご意見をいただいた方はタクシーに対する認識かと思っておりますので、敷居の高さを感じさせないような対策を今後取り入れていきたいと思っております。長くなりましたが以上です。

## 会長

ありがとうございました。名鉄西部交通さんの感想等も含め、これについて皆さん方何かご意見等ございますでしょうか。

## 委員

資料1のi-バスの実績は報告されているところなのですが、尾西北コースと尾西南コースの乗り継ぎ状況で、ここはいろいろとやった所で、実績だけではどういう乗り継ぎの状況なかなか見えてこないということで、やはりダイヤ等変わることの周知もどこまでできているのかということと、資料3で一宮おでかけバス手形

の販売数が結構伸びているということです。使われている方の評判を若干聞けたらいいのかなということが1点。もう1点はi-タクシーの関係で利用者がいない乗り継ぎの拠点は今後どうしていくかということは、まだまだ時期尚早かもしれないですが、やはり色々調べれば利用する方は増えてくるのかなということがありますので、そこをどうにか進めたいという感想と、ここのアンケート等にはなかなか出ていないですが、1人で乗るのが気が引けるというようなことが書いてあるんですが、実際乗り合い率はどこまでいっているのかと、1人のユーザーの方が何回も利用しているということは、1人かと思ったんですが、多くの方が利用する場合に乗り合い率も結構あるのか、そこが分かればお願いしたいと思います。

## 事務局

i-バスの尾西南・北コースはそれぞれ4月に時刻変更しまして、これに伴って待合場所を尾西記念病院から尾西庁舎へ変更させていただいたんですが、前ですと郷北・尾張中島で乗り継ぎができたんですが、ダイヤ変更によってそれができなくなったということで、これについて不便になったということは聞いておりません。ただ従来、尾西記念病院より南からお越しいただいて尾西庁舎を越えて平和堂で買い物をされる方が、尾西庁舎で待つことに変わったことに、ここで待つのは不便だねということは聞いているという報告は受けております。

## 事務局

それからおでかけバス手形ですが、どういう人がというのは、実際売っていただいているのは、バスの車内と名鉄バスさんの一宮駅のターミナルで販売をお願いしていますので、例えば私どもがターミナルへ行ったときに話をするのですが、いろんな方がたくさん買ってもらえるというふうには聞いています。どんどん皆さん喜んで買ってってもらえるということは窓口に見える方からはお話をお伺いしておりますので、この乗車券というのは結構皆さんが便利に使っていただいているというふうに理解しております。

i-タクシーの利用がないところですが、去年の7月から運行を始めまして、しばらくたつとゼロという停留所が目立ってきます。半年くらい運行したところでゼロだったところの町会長さんにお宅のご町内のi-タクシーの停留所はゼロなのですが、何か思い当たる節はございませんかと皆さんにお伺いをしております。そうしましたら、地域の方々のご町内にもお願いしまして回覧をしていただいたり、全戸配布で時刻表などをお配りしてご協

力いただいたんですが、そういったことをたくさんやってきたので地域の方は走っているのは知っているということはおっしゃっていただきました。ただ、今までなかったのを使うのに抵抗があるかもしれないですし、バス停までものすごく遠い所の方は今までバスを使う習慣があまりなかった地域の方はバスを使うということがそもそもないので、バス停までタクシーで連れて行っていただいても、なかなかその先今までと生活パターンが変わってしまうのはどうかと言われてたりとか、微妙に近い所は100円払って行くんだったら、歩いて行くと言う方も見えました。そこはこれから先も、全戸に広報に合わせていろんなものを配らせていただいたり、地元にお邪魔させていただいて簡単な説明をさせていただいたりというようなことを繰り返しながら、周知を図っていきたいというふうに思っております。

i-タクシーの乗り合い率ですが、i-タクシーの乗り合いは2つ考え方がありまして、私どもは運行事業者さんからいただく数字上しか見ていないのですが、同じ停留所から複数の方が乗られたというような乗り合いをされる方と、経路上途中で拾って行く、2つの停留所でお客様を乗せてから目的地のバス停まで行く乗り合いと2パターンあるのですが、最初から一緒に複数の方が乗られるというような乗り合いにつきましては、大体14%か15%くらいの方が複数でご利用いただいております。途中で拾って行く乗り合いをされた方は1件か2件あったように記憶しています。資料が手元にないのですが、乗り合い率は大体15%をちょっと切るくらいの乗り合いをしていただいているというような現状でございます。

## 副会長

このぐらいの量だと乗り合いというのはあまり発生しないかもしれません。気になるのは、複数というのは知り合いで乗っているのか、全く関係ない人が乗っているのかどちらですか。

## 事務局

複数の停留所を跨いで行くのは知り合いじゃないと思うのですが、最初から複数の方はお友達なのかなという気もします。

## 委員

毎回同じ方が反復利用という所は、複数で最初から一緒に行く予定で乗られる方が多い

ので、先ほどの十数%のは半分以上は最初から仲間で予約されていらっしやる。

## 副会長

これが一停留所で1日10人とかそういう感じになれば、当然全く関係ない方が同じ時間に予約して乗り合いの利用になると思うんですが、1カ月で数十人のレベルなので1日だと数人ですので、全く知らない方同士の乗り合いはまだだと。本当はそのレベルまで行くと非常に効率的になってくるので、まだ少ないところについては本当に使いたい人が全くいないのかどうかというと、そうじゃないと思うので、その地域でそれぞれ検討していくということが大事かと思えます。よく使っている人は2人くらいの方がよく使っているというのはよくあることで、それよりは不特定多数の方が時々でもいいので乗ってくれてというのが、公共をやる者としてはありがたいので、そういうのがあるね、たまに使ってみようねとその地域で呼びかけていく、地域でも取り組んでいただくというのがこれからの課題だと思います。

## 会長

これについては加藤先生が言ってくださったような意味を含めまして、i-タクシーについても同じ様な方が利用されるのがもちろん当然あって然るべきだと思いますし、それをいかに今後それ以外の方に増やしていくかという意味で、行政側の広報活動というか、私どもも、名鉄西部交通さんも含めてさらに皆さん方に今後PRする、そういうことが大事じゃないかと思っております。

去年この制度が始まったときに、どこの市とは言いませんが、本当に最初はちょっとあったけれども、1年も経たないうちに減ってしまったという市町村があったと聞いております。一宮もひよっとして思っていました、まだまだ伸び率は高くないかもしれませんが、新規の方にどんどん少しでも利用していただくということも大事ではないかというふうに思っておりますし、交通不便な地区は残念ながらございますので、そこで利用したい方がなんとか利用できるよという意味合い。それから前も言いましたが、帰りの部分、これは名鉄西部交通さんも含めて予約が1時間前だとなかなか難しい。せめて30分という話も出てきております。そこら辺のところからもうひとつクリアできる方策がないのかなということも考えております。そうすればさらにということもありますし、市民委員の方々もまだまだ意見があると思っておりますが、申し訳ないですが、この件に関してはまだ協議事項に入っておりませんので、一応この議題については以上ということ

にしておきたいと思えます。

次は報告事項3ですが、地域公共交通確保維持改善の二次評価結果について事務局からよろしくをお願いします。

## **事務局**

<資料説明>

## **会長**

この議題について追加資料の部分ですが、第三者評価委員会の主なコメントでみよし市や安城市に倣って参考としてほしいということです。安城市とかみよし市はこういうことをやって利用が高いとか、その辺りのことは事務局わかりますか。

## **事務局**

まだ分かっていないのですが、ただこの市町村につきましても帰りの便については苦慮してるということは存じ上げておりますので、それについては情報交換を兼ねて今後検討していきたいと思っております。

## **会長**

このように1つの例もあるので参考にさせていただければと思えますし、おでかけバス手形の数も増えつつありますので、さらなる周知の徹底ということを向こうも言っておりますので、行政側も努力をしていただけるように思います。これについても時間の関係もあって申し訳ないですが、これで二次評価については了解していただいたということでご理解いただければと思っております。

続きまして、本日の協議事項の1番目の議題、資料5の地域協働推進事業計画の変更について、事務局から説明をいただければと思っております。

## **事務局**

<資料説明>

## **会長**

この協議題につきましては資料5で、変更箇所が赤くなっていると思えますが、平成3

0年3月31日まで期間を延長するという事、それから3枚目のところでコミュニティタクシーについて1年延長したというところから、停留所の追加と時刻表を見直したということ。それからス、セ、ソ、タが加わったということで、今年度この部分を変更するという形で計画を推進していったということでございます。そのことについて委員の皆様方でご質問ご意見等ございましたら、お受けしたいと思っております。

## 委員

「路線系統番号付設の検討」と書いてあるのですが、お客様にとって分かりやすくすることは何ら問題はないと思うのですが、この地区に関してはかなり広域に路線が広がってしまっていて、他の自治体に跨いでいっている路線ばかりというようなイメージです。一宮市ばかりで検討するというと、名鉄バスとしてはかなり整合を取るのが大変というか、簡単に動く話というのか、頑張るつもりはあるんですが、ちょっとこれは重たいなということだけご承知おき願えればと思っております。

江南・岩倉・春日井みんな名古屋市の方へほとんど繋がって行ってしまいうイメージですので、ここ付けばあそこが付かないという、他の自治体がもし同じような発想をしたときに他との整合がとれるかとか。別に否定するわけではありません。

## 委員

ご指摘ありがとうございます。今私どもも名鉄バス一宮営業所さんの方へ、分かりやすく乗っていただくのにこういうことはという相談をさせていただいているところです。計画の中に検討と書いてあるのは本当にここだけなんです。今おっしゃっていただいたように簡単に付くものではないということも理解しておりますし、今言われたようにたくさん市町に跨っています。向こうの市町もコミュニティバスを走らせているところもありますので、そういった自治体同士の調整というのは絶対必要になることだと思っております。名鉄バスさんにご相談させていただきながら、そういう役所間で調整できるところは私どもがそれぞれの役所へ行ってお話をさせていただいたり、できるだけできるような方向を探っていきたいという事務局の気持ちというか、そういったことで何とか実現に向けて思うのですが、運行事業者の名鉄バスさん運行路線に番号がつくかどうか肝になりますので、名鉄バスさんのご意向もお伺いしながら進めていかないといけないことだとは私どもも理解しておりますので、検討という言葉で表させていただきました。

## 会長

その部分のことですが、全くなしということではなくて前向きに考えなくてはならないんじゃないかということから、行政もこういう言葉になってるんですが、名鉄バスさんのおっしゃる意味合いはよく分かりますので、この部分の言葉でご理解いただけないかと思うのですが、いかがでしょう。

## 委員

簡単な話じゃないですよということだけですので。

## 会長

それではこの計画についてはご了承いただいたということで、次の議題に入りたいと思います。

2番目の議題、平成28年度一宮市地域公共交通会議決算について事務局から説明よろしくをお願いします。

## 事務局

<資料説明>

## 会長

資料6ですが、平成28年度一宮市地域公共交通会議決算書ということで出てきております。このような報告が事務局からございましたが、この件につきまして監査をされております長谷川監査委員の方からご報告をお願いします。

## 監査委員

監査委員の長谷川でございます。平成28年度一宮市地域公共交通会議決算書につきましては、去る5月9日に関係帳簿及び証拠書類と照合し監査を行いましたところ、いずれも適正に執行され事実と相違ないことを認めましたので、ご報告させていただきます。

## 会長

今、監査委員の長谷川さんからも事実と相違ないのご報告がございました。この決算に

つきまして皆様方から何かご意見・ご質問等ございますか。これについてはご了承いただいたということで、ご理解いただければというふうに思います。事務局はこれで事務を進めていってください。

続いて3番目の議題、平成29年度一宮市地域公共交通会議予算書(案)について事務局説明をよろしく申し上げます。

## 事務局

<資料説明>

## 会長

平成29年度一宮市地域公共交通会議予算書(案)ですが28万1,000円の収入・支出という形になっておりますが、これについて皆様方からのご意見ご質問等ございましたら。

## 委員

こちらの確保維持改善事業費補助金の計画推進事業という位置付けになるんですが、一宮市さんは公共交通網形成計画を28年2月に改定されておまして、その計画に基づくものの推進をする事業費という補助がありましてその中の28万円。2年間最大で使えるものがありまして、この2年目ということになっておりますので、最大限活用していただきまして、網形成計画を広めていただければと思っております。

## 会長

ありがとうございました。これにつきましては皆さん方ご了承ということでよろしいですね。事務局は今後この予算書に基づいた形で進めていただければと思います。

それでは続きまして、4番目の議題、資料8のi-バス一宮コース・尾西北コース変更(案)についてです。この議題については、コース変更ということになりますので、道路運送法に基づく協議という形になります。したがって少しの変更かもしれませんが合意が必要となりますので、協議の後、合意を求めますのでよろしく申し上げます。それでは事務局説明をお願いします。

## 事務局

<資料説明>

## 会長

簡単に説明しにくい所なんですけど、工事の関係で通れなくなるところがあるので、資料8のように変更になったかと思いますが、この変更につきまして警察及び道路管理者の皆さんからご意見等をいただきたいと思います。最初に警察委員の加藤様よろしくお願ひします。

## 委員

交通規制上問題なければ、コースの変更については警察としては問題ありません。鋭角に左折する所でございますので、特に運転手の方に左折の所の安全確認をしっかりとやっていただきたいと思います。警察からは以上です。

## 会長

ありがとうございました。次に県道を管理されています愛知県一宮市建設事務所維持管理課の八森委員様よろしくお願ひします。

## 委員

バス停の変更はないようですので道路管理上特に問題ないと思いますので、いいと思います。

## 会長

ありがとうございました。それでは市道を管理しております市建設部道水路管理課の滝沢委員様お願ひします。

## 委員

一宮警察署の方から話があったように、鋭角になるというところだけ注意していただければ、これまでの路線とそんなに変わるところもないものですから、支障がないというふうに私ども現場を確認させていただきました。

## 会長

それではこの変更について警察あるいは県・市それぞれ了承を得たということですが、

これにつきまして委員の皆様方からご意見等ございましたら。

## 委員

愛知県交通対策課でございます。このバスルートの一宮コースにつきましては、地域間幹線系統ということで、国の補助を受けておりますので、補助金のほうも所定の変更の手続きをお願いします。

## 会長

事務局その辺のところはよろしく願いいたします。先ほどコースの変更ということでございますので皆様方の合意が必要となりますが、これについてはご了承していただいたということでよろしいでしょうか。合意していただいたということで事務局は進めていただければと思います。

それでは続きまして、5番目の議題、資料9の生活交通確保維持改善計画変更認定申請についてと、議題6の生活交通確保維持改善計画(地域内フィーダー系統関係)(案)についての2つの議題については、関係性もございますので一括して進めさせていただこうと思っております。事務局から説明をお願いします。

## 事務局

<資料説明>

## 会長

ただいま事務局から説明がございましたが、皆様方の方で何かご質問ございましたら、よろしくをお願いします。

## 委員

これも補助の申請に掛かる部分で6月末に申請しないといけないということがありまして、実は私どもこれに対する補助要綱というのが本来前年度に出される。ところが今年度の補助要綱がまだ定まってないということもありまして、ただ6月末までには認定申請を出していただかないといけないということがあります。事務局から説明がありました別表1・別表2とも方式を今度変えるということもありまして、これについては運輸支局とも調整をして提出していただくような段取りになろうかと思っておりますので、この

計画について今日は審議いただければと思っておりますのでよろしくお願いします。

## 会長

補足説明ありがとうございました。簡単に言えばこの補助をいただくために、資料9については、今日の部分を平成29年5月17日にこういうことをやったということが加えられておりますし、資料10についてもそれぞれ新しい車両を入れるということから変更が予想されることを含めて、2枚目3枚目に車両の部分に関することが大きく書かれています。それと同時に今日の議題が最後のところで加えられています。これを申請する予定であるということです。委員の方々何かご質問があればお受けしたいと思います。

基本的には資料9・10を参考にしたもので計画を出していくということはご了承いただいたということで、議題5・6につきましては終了させていただきたいと思います。あくまでもこれは補助を貰うために必要な変更ですので、ご理解いただければと思います。

7番目の議題、地域公共交通調査事業(計画推進事業)についてに進みます。これについても国の補助を貰うためのものと理解していますが、事務局から説明をお願いします。

## 事務局

<資料説明>

## 会長

本来だったらもっと前にこれを出して協議いただくということですが、簡単に言えば公共交通調査事業として一宮市公共交通マップの作成と地域におけるワークショップ——萩原地区の交通協議会ですが、国のほうへ対象経費が56万円で補助金が28万円、これは提出されているということでございますので、ご了承いただければと思いますので、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

## 副会長

資料9・10・11は内容的なものはオーケーしたもののなのでそれでいいんですが、確認ですが9・10は運行関係なので年度は10月からの年度、11の計画推進事業というのは4月からの年度ということを皆さんもしかするとすっ飛ばしているかもしれません。運行補助は年度が10月から翌9月までなので、6月末までにこの協議会で議論して進むと10月から受けられるものです。11のほうは今年度4月からの年度でやっているとい

うことです。今年度のマップはいつ頃出すんですか。今あるのは昨年度の予算ですね。

## 事務局

おっしゃられるように緑の表紙のものは昨年度の予算で作ったものでございます。今年度につきましては、基本的には変更がなかったら無くなったら追加印刷ですけれども、そのときに路線とかダイヤ以外で触れるところがあれば、また改善しながらというふうに考えております。あとは路線とかダイヤが、名鉄バスさんも全部含んだマップになっておりますので、そういったところで変更がございましたら、変更に合わせて作り直しをしていくというように計画しております。

## 副会長

因みに系統番号が書いてありますが、これはさっきの議論とは無関係と考えていいですか。結構こうやって書いてあって実際には表示はされていませんのでご注意くださいと書いてあるのが他のマップだと多いなと。これがそのままバスに使われていけば対照できて分かるということですが現状はそうではない。全国的にはさっき近藤委員がおっしゃったようにいろいろあってなかなか付けられないですけど、地図の左上の所に番号がありますが、そのくらいの注記はされたほうが、この番号だと他のところと整合が取れない番号だと思います。

## 事務局

ありがとうございました。少し下に注釈を入れます。

## 会長

その辺の変更等を含めて事務局よろしくお願ひします。議題7についてはご了承いただいたということで進めたいと思います。

続いて議題8、第2次一宮市地域公共交通計画の策定について事務局からご説明いただきます。よろしくお願ひします。

## 事務局

<資料説明>

## 会長

事務局から説明がありましたけれども、今年度に「第2次一宮市地域公共交通計画」を策定するという事です。これから5年間の地域公共交通計画という事です。当然これまでのように、民間のバスも入れればi-バスとかふれあいバスも入っている。また、i-タクシーのようなものも入ってきております。同時にあまり今まで議論してきませんでした。名鉄さんの一宮管内の電車というのも大きな意味で言うと、地域公共交通に入ってくるだろうと思います。私どもも今までi-バス一宮コース、尾西北、尾西南、木曾川・北方、千秋、大和・萩原のコースなど、そういうようなことに関して順を追ってやってきましたが、何かこれでよかったのかと、1つずつ着実に進みつつある気はするのですが、どこか忘れていことがあるんじゃないかとか、あるいはもっともっと市民周知の方法は他の方法があるんじゃないかとか、さらに一宮にはテレビ局・ラジオ局があります。もっとコースだとかを広報的な部分で行政が宣伝して行ってラジオ・テレビで分かってもらうような方法もないだろうかというようなこと。それから、萩原地区では名所・旧跡巡りをやられてきました。例えば浅井のほうには古墳だけじゃない名所・旧跡がいっぱいあります。北方のほうには代官所もあります。浮野のほうでは古戦場・養鶏団地がある。民間・公共を越えたコース巡り、こういうのを作り上げてそういうコースに出掛ける、ここが事務局であっていいしNPOであっていいですが、そういうのがあっていいんじゃないだろうかといろいろ打ち出していかないと、市民へのPRだとか、できる限りバスを利用する、あるいはタクシーを利用する形でうまくコース設定ができないかということ。

利用促進の意味でご提案したところですけど、そういうことをやっていかないと利用者数を現状維持だけでも大変だと思いますし、それを増やすのはもっともっと大変だろうというふうに思うものですから、時間の関係もあるのですが、12時までの20分だけ皆さんにご意見等を、特に市民委員の皆様方が今までやってみえたところで何かご意見等ございましたら忌憚のない意見でいいのでおっしゃっていただいて、この計画に入れるか入れないかは別として、今思っているのはこういうことだと言っていただければありがたいと思っております。まず市民委員、次に事業者の委員の方によそでこういうことをやっているよとか、もしご提案があったらと思いますのでお願いします。

## 委員

この場には長く居させていただくんですが、この場所で会議をされたことと私たちが委員として個人的に地元に戻って、じゃあどういう活動ができるのかということ、なかなか動

き出せていない。バスに乗るという経験ですとか、地域の方がバスを見たときにこういうふうで走っているんだよと、いまだに名鉄バスさんが走っているバスとi-バスの区別が北コースですと色が同じということもあって区別がつかなかったり、利用に関しましても不便だという意見が多いです。ついつい一宮まで行ったらいいんじゃないかとか、尾西ですとi-バスの尾西北・南コース、南の方は多く利用されて本当に必要とされているんだろうなという思いがあるので、私たちが委員として、先ほどのみよし市とかの様子を詳しく教えていただくとか、地元の萩原のワークショップとかいろんな所へ行くと、地元からどんな要望があって成り立っているのかとか。私の住んでいる場所ですと、割と庁舎に近いのでバス路線が結構あるところで、地域の話し合いをされた町会長さんが、バスが近くにあるからうちの地域でバスはいいわと話し合いの中で言ったということもおしゃってみえました。自分の地域にバスが走らなくなったら、本当に必要とされるときに自分の地域でいかにバスが走っていることの大事さというのを何とか同じ市民としてお伝えできて、たくさん情報をいただいていると思うんですが、本当に使いたいと思ったときでない情報というのはあまり見ないもので、これから超高齢社会と言われていきますので、車に乗ってみえる方も、本当に今乗っている段階から必要なんだということを何とか認識していただくために、何ができるのかと常に思っております。

## 会長

いろんな機会を通じながらいろいろ訴えていくことが大事かと。同時に僕もそうですが、皆さん方も地域に帰って何かできることはないか、僕らもう一度考えなきゃいけないか。ここへ来て議論をやってそれで終わってしまうんじゃなくて、いかに地元へ還元していくか、そういう努力も大事かと。先ほど萩原のワークショップの話がありましたが、予定では今日あるんですね。今日は夜ですので、その結果萩原ではこういうことがありましたということを事務局とか出席される方から説明していただくとか、そういうことが大事じゃないか。もっと言うと、地域でこういう意見が出ましたということはあまりここでは反映されなかったものですから、これからは、この地区ではこういう声がありましたということをどンドン言ってもらうことが大事じゃないかと。このみじゃなくて市民の意見を聞く、アンケートをやるようになっていると思いますが、そういうことを市民がどう思っているかということを僕らは吸収してこないといけないんだろうな。それを次のところで提言の中で皆さん方で作り上げていく必要があるんじゃないかと思います。

## 委員

私は玉ノ井に住んでいますけれども、毎日 i-バス見るんです。皆さん言われるのは今は右回りだけなので、左回りも往復やってもらったら乗る人も増えるんじゃないかという意見が非常に多いんです。それで、玉ノ井の場合は名鉄線があるのでバスを使うのは少ないと思います。それで i-バスの方も今までのコースを、この間ちょっと変えていただいたんですが、あまり利用者は増えてないというようなことです。

i-タクシーについて門間と八幡、ここの利用が前回ゼロでした。今回もゼロということで、先ほど話に出ましたように1人じゃなくて複数でお互いに話し合っただけようになったら、利用者も増えるんじゃないかと思っておるんですが、門間・八幡については町会長さんの方へ話をされていると思いますけど、市とタクシーさんと両方PRをされているんでしょうか。

## 事務局

PRというか周知につきましては広報、この4月に一部時刻変更しまして、時刻変更した所もそうですし、継続していく地域につきましても今一度ということで、全戸配布させていただいております。各町会長さんのほうにも昨年度試行運行開始した後にしばらく利用がなかった町内につきましては電話をさせていただいたり、利用状況はどうですかというようなことをお聞きしましてお願いをさせていただいているような状況なんですけど、地域の方も i-タクシーのことは全く知らないということではなくて、知ってるけれども今まで使ったことないからだとか、この辺の人は歩いて行ってしまふだとか、そういったようなことはお聞きしております。

先ほど門間・八幡ともにゼロということになっておりますが、この4月に門間の方でお2人利用は出てきておりました。

## 委員

i-バスを乗り入れてという要求はあったところなので、こういう i-タクシーが使えるようになれば利用者が増えるんじゃないかと思っておりますので、PRよろしくお願ひします。

## 委員

私は民生委員ですから、一言だけお願いします。交通会議にずっと出ていて一番感じる

ことは、一宮の地域性を考えますと東西の連絡が大変必要だと思うんです。私は丹陽の伝法寺です。今 i-タクシーを使っている数字が出ていますが、苦情がものすごく多い。なぜかという、ものすごく不便じゃないか、タクシー乗り場まで歩いて行かないといけない。そこまで歩くんだったらバス停まで行けるし、この辺は名鉄岩倉線が近くて北名古屋、稲沢へすぐ行けるのにどうして一宮の本町へ行くバスに乗らなきゃいけないんだ。横の東西のラインをどんどん作っていったらどうだ、そんな意見です。ですから一宮の中心へ幹線バスを引っ張ることも必要は必要ですね。だけど、利便性という点では東西も考えておかないと、名鉄が南北に走らせてJRと2本もある。先ほど言った岩倉線が犬山まで走っている、そういうものが近くにありながら、連絡取れるようなラインがほとんどない。東西のラインだったらどこへ行くにも15分で駅に着くわけですから、非常に使われるんじゃないかなと思います。名鉄さんによくお願いしたいんですが、そういうことを考えていくことが市民のためになって地域が発展していく。私たちがよく言われるのは特に南部のほうですから、アパートを持っている方たちが言っているんですが、どうしても北名古屋市や稲沢の方へみんな逃げてってしまう。伝法寺にいてもどうしても車に乗らないといけない。稲沢や北名古屋は車1台で済みます。いろんなバスが走っているので非常に便利なんです。川ひとつ越えて行けばそういう利便性がある。一宮はどうしてこんなに不便なんだろう。その辺りのことをしっかり踏まえて考えていかないと私は思っている。2年くらい前にも申しました、もう少し住民のことをしっかり考えてください。

それから観光というのは非常に一宮は弱いんですね、京都や奈良と全然違いますから、いくらラインを活用しろと言われても地域の人たちはそんなに使いません。曼陀羅寺の藤まつりがあってもそんなにバスには乗らないわけです。名古屋へみんな出て行くわけですからそういうものは二の次に置いて、この辺には住居としての交通の便、名古屋に働きに行く方たちの足代わりになるような便利な所にならないといけない。そういう所に付随して地域は発展していくと思っています。

もう1つ、コマーシャルをいくらしても利便性が低ければ誰も見向きもしないです。コマーシャルしなくてもいいものは口コミでどんどん広がっていく。そういうことを踏まえていけば、これが立派な事業になっていって一宮の発展に繋がると思います。

## 会長

丹陽地区という地域性がございまして、例えば一宮市役所と一宮駅だけではなくて、近い将来は他市町村との関係も広域で考えざるを得ないようなこともあるのではないかと。

陽という地区は稲沢や岩倉を考えてみてもいいのではないかという気はします。ただし、あくまでも市の公共交通ですのでどこまで増やしていくかとなると、相手側の意向もございますので、その辺のところはこちらだけでは勝手に進められないと理解いただければと思います。

## 委員

一宮は23連区が地域づくりで非常に活発に役員さんを中心として安全安心なまちづくりをやっているわけですが、それと同じようにこれも利用者がゼロという所があるというのは、これだけ骨折っていただいても自分自身でこちらを利用した方がいいかと個人個人の自己中心で考えて物を言うわけですから、いずれにしても利用が少ないゼロの所については一步踏み込んで、地域の役員なり住民のご意見も聞きながら場所がどうだとか、時間がどうだとか、いろいろ希望に応えることができれば予算とかできる範囲内で全体的に公正に公平にやってもらおうといいなと思います。

途中で路線の系統番号の話がありましたが、名古屋とかち合うのじゃなく、一宮特有の138をどんと出して後は一桁くらいで納まるくらいの簡単な数字を並べて、利用しやすい見やすいように。番号見るためにずっと前に行くような危ないことがないように、いろいろ考えながらできるだけ地域のニーズに応えるように今後ともよろしく願います。

## 委員

去年も何回か名鉄バスさんに乗せていただきまして、2回ほど車椅子の方が乗ってみえる場に居合わせたんですよ。2年くらい前に起にi-バスの停留所がなくなりまして、おじいちゃんおばあちゃん全部地域バスを利用させていただいているんです。たまたま乗っていた時に近くのおばあちゃんがカートを持って乗られるのに、この高さまでカートが上がらないんです。見るに見かねてお手伝いしましょうかと言ったことが何回かありまして、i-バスだったらどうなんだろうと、もっと簡単に乗ったり降りたりできるんじゃないかということを、主婦目線で些細なことですが感じました。だからと言ってi-バスを起へ通るようにしてくださいと言っているわけじゃないです。そこまで細かいことまでは言いませんけど、どうなんでしょうかと、たまたま感じたことです。

## 委員

私10年間勝手なことをばかり申しまして、本当にすいませんでした。ずっとお話が出ていますが、この社会も後期高齢者がどんどん増えてきて、会議の最初のところで免許証の返納の話が出たわけですが、82歳になりました。そろそろ返納の対象かと思いつながら、まだ今車に乗せていただいているわけですが、このバスの公共交通の関係はいろいろと問題になっていると思います。それぞれいろんな市町村で考えてやってみえるということですが、新聞など読んでおきますと、中には高齢者が無料で乗車できることも行われていると思うわけですが、私も障害者の関係でこの会議でいろいろと障害者半額を要望しまして、皆さんにご了解いただいて本当にうれしく思っております。予算の関係等もあると思います。これから何歳以上は半額にするとか、免許を返納した場合は優遇するとかそういうことも含めて考えていただけたら、利用が続くんじゃないかと思うわけでございます。いろいろと勝手なことばかり10年間話をさせていただきました。本当にありがとうございました。

## 会長

ありがとうございます。時間が12時に迫ってきたんですが、こちら側は各事業者とか国・県・市の関係者ですが、例えばこんなようなおもしろいことをやっている市があるよとか、こういう例も考えたかどうかとか、私どもは井の中の蛙で、加藤先生はいろいろご提言が出てくるかと思いますが、皆さん方で何かそんなようなことがあったら、今までにないような視点で考えたかどうかとか、そんなことがあれば逆にお願いするところなんですけど、何かございませんか。

## 委員

アンケートを見ると20代の方も使われていると思うんですが、定期券はあるんですか。

## 事務局

i-タクシーは定期券・回数券はございません。

## 委員

定期券を利用したいという人は要望はないんですか。

## 事務局

定期券や回数券をというようなご要望は今のところ聞いてはございません。

## 委員

いろいろな事例を加藤先生の前で私が言うのも恐縮なんですが、福井に居たということで、福井で拠点から幹線のバスが出る、その間にそこまでの少し利用が少ない所をやはり乗り合いタクシーという制度で、早くから買い物施設に待合所を設けまして、そこに拠点を作って非常に活性化になったと、加藤先生の非常に好きな事例ではあるんですが、拠点作りですね。そこでは待っている間に買い物ができますよと、待合室もあるというような非常にいいものです。これは福井市の事例ですが、だいぶ前からやっているような事例もありますので、なかなか規模とか考えますとそれが全ていいかというのがありますので、参考にしていただければいいと思います。

細かい話ですが、一宮市公共交通計画策定ということなんですが、これは網形成計画の2次版ということの位置付けでいいというように私は理解しているんですが、それでいいかということと、もうひとつ立地適正化計画というものがまだできていないと認識しているんですが、ここの進み具合がこの網形成の第2次の計画とリンクしていくのかどうかを教えてください。

## 事務局

今お尋ねがございました一宮市の第2次公共交通計画ですが、ご指摘のように、網形成計画の第2次版として作成していくものです。立地適正化計画ですが、こちらの方はまだ当市は策定しておりませんで、今のところ予定も立ってございません。今後、立地適正化計画を作っていくということであれば当然リンクは考えていかなければいけないかと考えております。

## 会長

それぞれご意見等ありがとうございました。あくまでも第2次地域公共交通計画の策定につきましては今年度中ということですが、例年よりは数多く会議をやる、最初に事務局からも説明がありましたが、何回とは申しませんが3・4回には最低でもなるのではないかと考えておりますので、その辺のところでもまた委員の皆様の協力をお願いをしたいと思います。

それでは議題3、その他ですが、事務局何かございますか。

## 事務局

先ほど会長さんがおっしゃられたんですが、萩原の交通協議会ですけれども、今ニコニコふれあいバスを支えていただく活動をしていただいています、ニコニコふれあいバスが運行を始めてこの10月末で10年になります。協議会の活動そのものはその前から11年以上活動していただいているんですけれども、そういった活動をする中で、今後自分達がどのような活動、どのように方向づけながら活動していったらいいかということ、加藤先生にご指導いただきながら10年を機に話をしたいというご希望を私どもの方にいただきました。加藤先生にお願いしましたらご快諾いただきまして、今日の夕方6時から萩原公民館の講堂で加藤先生を囲んで座談会形式なのか、ご指導いただくような会を開きます。本当に今日の今日で申しわけないのですが、委員さんの中で、もしご都合を付けていただけるような方がお見えになれば、その座談会を聞きに行っていたらと活動も少しご理解いただけるのではないかというふうに思います。

もう1点、先ほどi-タクシーの利用で一宮の南部地域の丹陽町という所で、地域全体としてi-タクシーをたくさん使っていただいている地域がございます。丹陽町では公共交通について関心をお持ちの方が多くて、萩原と同じような感じなんです、地域の中で地域のバスを検討するような会議を何回か開いて、いろんな自分達の地域に合ったコースを検討していただいております。今はまだ具体的に固まってきてはおりませんが、まとまってきましたら皆様方にご協議いただいて報告をさせていただく予定でありますので、合わせてよろしく願いいたします。その他ご報告させていただくのは以上です。

## 会長

加藤先生に夕方の分も含めて、今後の策定の指針・方向性を含めてお話いただければと思います。

## 副会長

18時からということですが、その前に14時から豊山町で会議がありますから、電車・バスで往復しますが、とても不便です、はっきり言って。12時31分のバスに乗って岩倉へ行って、西春へ行って、そこからまたバスに乗って行きます。と言って一宮の名鉄の幹線部分というのはそれなりに本数があって、利用を見ていただくと今日の資料でも何回も言っていますが、いわゆる路線バスがとても利用が多くて、コミュニティバスの方が少ない。少ないからどうでもいいということでは全然ないですが、その幹線の部分は横ばい

から微増ということになってはいますけれども、ここをどうやったらもっと活用できるかという、i-タクシーもそうですが、考えていく必要があると。これが1つ今度の計画でやっていかなければいけないことかと思えます。

40万とか50万の都市ですと、岐阜は全国的に有名になってきましたけれど、自治体と事業者で路線バス自体を底上げするよういろいろな取り組みをやっている。すぐ隣にそういう所があります。一宮もそのポテンシャルはあるかと思えます。みよしと安城の話が出たので、改めて調べてみましたが、安城の場合は4か所とも福祉センターとか桜井駅が拠点になっていて、そこへいく用事にも十分使える。桜井駅はアピタもあるということで、乗り継ぎもさることながら、そこまで行って何かする。これはずっと言っていることで、単なるバス停だけだと弱いということで、本来の乗り継ぎ拠点は何かある所がよりいいのかなと思ってるのですが、これはこれからi-タクシーもやっていながら考えていくところかと思えます。

i-タクシーも今のところは計画に盛り込まれていないわけですが、多分新しい第2次の計画では、位置付けられていることだと思うんで、そのときにどういうふうなところに走らせるべきかと、さっきお話したように、地域の皆さんにどういうふうに分かっていただけるかと。分かればとても便利なものなのですが、なかなか取っつきにくいので、どうやったら使いやすいかということとはきちんとやっていく必要があると思えます。

今、安城のものを見ると、それぞれの地区ごとにこうやって使うといいよという表裏パンフレットが用意してあって、時刻もこの時間までに予約してねという予約締切時間が書いてあって、乗る時間が書いてあって、乗り継いでバスとか電車だと何時があるよと、全部一貫して書いてあるのが行き帰りにある。帰りの予約が行きに来るととても便利。全国的にはそういうところも結構あります。ということも工夫した方がいい、いろいろあります。

立地適正化計画の話がでましたけれど、資料編に書いてあるけれども、全く予定はないんですね。というのは、交通会議はあまり言われませんが、国の考え方としてはこの一宮地域公共交通計画、全国で言うと地域公共交通網形成計画という法律に基づく計画ですけど、これと立地適正化計画と言われるこれから人口が減少する中で、あんまり都市をむやみに広げないで、縮めていきましょうねと国では奨励している。この2つの計画はセットでやるというのが、国交省の考え方なんです。当然でして、好き勝手な所に住んでバスを引けとかそういうのはできないということで、公共交通を活性化するのであれば、住む所も考えようねと。これをセットでやらないと、とても予算が足りないということなの

で、20年30年の長期ではそういうことをやらなければいけない。その計画がきちんと一宮市で打ち出されてくるのであれば。総合計画で何が書いてあるか。総合計画も今年度見直しですか。この辺も随時情報をいただいて、逆に公共交通のほうからこうしてほしいとかいうことも出していかないといけないと思うので、次回あたりは総合計画の進捗も教えていただいて、だいたいとんちんかんなのが出てくるので。総合計画でとんちんかんなものが出てくると、受ける方が困るので、こちらのほうから、そういうことを言うんだったらこれをやってくれと言っていかなければいけない。これもやる必要があると思います。

いずれにしても、普通の40万人都市と比べて、まだまだやるべきことはたくさんあって、そのことで利用が増やせると思っているので、決して今までさぼっていたわけではなくて、ちゃんとやってきたのですが、一段と利用を増やすことは可能だと思っています。皆さんに今までの常識にとらわれないご意見を出していただいて、30～34年に少しでもやっていけるようにできればと思っています。なるべく私も皆さんのご意見を活かして、こうやったらできるんじゃないのということを考えていきたいと思っています。事業者の皆さんも当然ご協力いただけるものと思っていますが、ぜひとも引き続きよろしく願いいたします。

## 会長

ありがとうございました。最後に主宰者委員として市企画部長の熊沢委員さん、何かありましたらお願いします。

## 委員

本日は皆様お忙しい中、この会議にご出席いただきまして、また長時間にわたりご協議いただきまして、誠にありがとうございます。今日も盛りだくさんの協議事項、報告事項をさせていただきました。その中で、我々として今年度の大きな課題の1つといたしまして、先ほどもお話がありましたように、第2次公共交通計画の策定を予定しております。また、先ほど加藤先生のほうからご指摘がありましたように、総合計画も今年度中に策定しなければならないという大きな課題も抱えているという状況でございます。どちらも本当に市民の関心が高く、期待も大きくて、市にとりまして必要な計画の1つであると考えております。

そんな中で皆様方の公共交通に対する要望は非常に多くありまして、なかなかその要望に応えきれていないところもありますけれども、私ども行政といたしましても、できることから着実に、そんな考え方をもって少しずつ前に進んでいきたいと考えております。

今年度、計画の策定ということでいつもの年より会議の回数も多めに予定いたしております。皆様お忙しいとは思いますが、引き続きご意見、ご協力をお願いしたいと思います。本日は本当にありがとうございました。

## **会長**

ありがとうございました。本日は予定を少しオーバーしてしまいましたが、長時間にわたってご議論いただきまして誠にありがとうございました。先ほども言いましたように、今年度はとにかく少なくとも数回はあると思いますので、委員の皆様のご協力をいただきたいと思っております。これで本日の会議を閉会させていただきます。